

語り合う文学教育の会

2013年度 No.6 9月19日・文責 橋本博孝

9月21日（土）に予定していた三重例会は都合により中止します

秋の文学散歩

ひがんばな咲く新美南吉記念館

☆9月28日（土）☆

名鉄名古屋駅午前11時10分発内海行き特急・半田口駅11時42分着

11時26分発内海行き急行・半田口駅12時12分着

11時42分発河和行き特急・半田口駅12時12分着

途中の阿久比駅で普通に乗りに換えます。急行や特急は半田口に停まりません。

秋に運動会をされる学校は、お忙しい時期だと思います。運動会当日になるかもしれません。ひがん花を見ようと思えば、この時期しかないので申し訳ありません。連休を避けてもかなりの人出とのことですが、一日ゆっくり歩きましょう。

気楽に歩く会です。名鉄半田口駅で12時15分に待ち合わせです。南吉生家などを見て、ひがん花の咲く堤防をまわって記念館に行きます。お昼も適当に食べるといういいかげんな企画です。記念館の駐車場はこの季節は閉鎖です。少し離れたところからシャトルバスで移動することになります。自家用車の方は各自調べてください。誰かが説明するわけでもなく、勝手に歩くだけなので出欠の確認もありません。駅の集合に間に合わなかったら、記念館に時刻を見はからって来てください。

雨の場合は、各自判断してくださいね。行って、誰も集まっていなかったら、一人で散策しましょう。

会費納入者 89名 (9月17日)

三重・42名 奈良・22名 全国・25名

郵便局の振り込みなので、なかなか手続きの機会がとれない方もおられるでしょう。今年度の会員以外への会報郵送は打ち切ったので、あとは会員のみなさんの口コミによる勧誘だけがたよりです。あと11名で100です。

例会の報告

★8月10日(土)・11日(日) 日本文学協会国語教育部会夏期研究集会・東京

お知らせしたように、横山先生が開会のあいさつをされました。小学校分科会では、中西祐司さんが「生きる」の実践報告をしました。子どもたちの生きた声が聞こえると好評でした。

他の会員のみなさんの発表を紹介します。

☆講座・木下ひさしさん「大造じいさんの物語として読む」

- ・田中実さん『高瀬舟』と『城崎にて』
- ・馬場重行さん「〈語り〉を考える —『伊豆の踊子』をめぐって—」

☆実践報告

- ・篠原武志さん「教室で読まれる『こころ』 —『私』は『先生』の明治精神を批判する—」

☆シンポジウム「教室における〈第三項〉と〈語り〉」

- ・中村龍一さん「『語り論』がひらく文学の授業 芥川龍之介『白』の〈原文〉の影を掘り起こす」

いろいろな刺激を受ける研究会です。来年はぜひみなさんも参加しましょう。

☆9月7日(土) 奈良例会 奈良教育大学附属小学校 7名参加

2学期の教科書教材をみんなで読みました。「わすれられないおくり物」「平和のとりでを築く」をくわしく読みました。実践報告をお待ちしています。

これからの予定

☆9月28日(土)☆ 秋の文学散歩「ひがんばなの咲く新美南吉記念館」 p 1 参照

☆10月12日(土) 奈良例会 午後2時半～ 奈良教育大学附属小学校☆

「教材研究とは何をどうすることか」

教材研究をあまりしないで、授業の工夫ばかりが目立つ公開授業が増えているのではないかと感じます。「アレクサンダとぜんまいねずみ」(レオ=レオニ・教育出版2年下)を例に、教材研究の原理と方法を考えます。これからの教材で困っているものがあつたら持って来てください。

☆10月19日(土) 三重例会午後2時半～三重大学教育学部国語科ゼミ室☆

実践報告「ばらの谷」(高山貴久子・東京書籍6年下) 望月靖子さん

語り合う会では、教材研究も実践報告も初めての作品です。望月さんと庄司さんがかつての例会の後、車の中で長時間あれこれ考えていたようすを思い出します。

★11月2・3日 近畿東海教育研究サークル合同研究集会(和歌山)★

案内状を同封しました。集会テーマが書かれていない案内なので、わたしはいささか不満です。国語教育分科会は、わたしが担当します。

☆11月9日(土) 三重例会午後2時半～三重大学教育学部国語教育ゼミ室☆

★11月16日(土) 奈良教育大付小研究会「教材の価値となかまとの学び合い」★

これも案内を入れました。国語では、「モチモチの木」と「アレクサンダとぜんまいねずみ」の授業があります。

※日文協大会と重なってしまいました。

★12月7日(土) 午後1時～ アスト津 三重民教連初冬教育集会☆

つながりあい、語り合えば、元気!